

指定管理者モニタリング評価シート

評価対象年度： 平成 30 年度

施設所管課： 巖木市民センター産業・教育 課

1 施設の概要

施設名	唐津市巖木特産品等展示販売施設「風のふるさと館」	所在地	唐津市巖木町牧瀬692番地1
設置目的	市内地場産品の展示及び斡旋並びに観光地等の紹介及び情報の提供を行い、地域経済の活性化に寄与		
開館日	12月31日・1月1日～2日を除く全日無休	開館時間	午前8時～午後6時

2 施設の利用状況

説明	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	利用状況の傾向と増減の要因
風のふるさと館	191,878 人	187,715 人	178,211 人	171,061 人	H30年度の来店者数は前年比▲70百人であり毎年▲3～5%にて推移。主な要因としては出品者である農家戸数の減少が考えられる。(H29年戸数98戸→H30戸数71戸)
	人	人	人	人	
	人	人	人	人	

3 指定管理者の概要

指定管理者	名称	株式会社 風のふるさと館		
	所在地	佐賀県唐津市巖木町牧瀬692番地1		
	代表者	嶺川 淳一郎		
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日			
指定管理者の業務内容	唐津市巖木特産品等展示販売施設「風のふるさと館」管理運営業務			
事業の実施状況	唐津市巖木町の各種団体等と連携を図り、唐津市巖木町の特性を活かし、ふるさと巖木の農林業及び商工業の活性化を創造し、更なる振興を図る。			
職員の配置状況	常勤 正規職員、フルタイム等	非常勤 嘱託・臨時職員、パート等	常勤の内訳	
	3 人	11 人	店長・従業員・食堂主任	

4 収支状況

単位：円

	平成30年度 決算額	平成29年度 決算額	増減額
収入 (a)+(b)+(c)+(d)	55,409,430	60,582,266	-5,172,836
指定管理料 (a)			
利用料金収入 (b) ※利用料金制の場合のみ			
事業収入 (c)	52,926,621	55,544,848	-2,618,227
風のふるさと館	41,967,451	47,708,128	-5,740,677
食堂	10,959,170	7,836,720	3,122,450
—			
—			
その他収入 (d)	2,482,809	5,037,418	-2,554,609
支出 (e)+(f)+(g)+(h)+(i)	54,890,205	59,872,048	-4,981,843
人件費 (e)	25,664,787	24,554,926	1,109,861
施設管理費 (f)	10,638,063	13,152,441	-2,514,378
光熱水費	4,099,717	3,660,178	439,539
修繕費	151,135	89,922	61,213
広告宣伝費	78,399	145,345	-66,946
委託料 (再委託)	4,422,619	4,699,035	-276,416
保険料	259,030	260,220	-1,190
事務費	1,147,098	3,928,608	-2,781,510
その他	480,065	369,133	110,932
事業費 (g)	373,910	302,880	71,030
うち自主事業に伴う 経費	373,910	302,880	71,030
施設使用料 (h)			
その他支出 (i)	18,213,445	21,861,801	-3,648,356
収支	519,225	710,218	-190,993
利益配分額	259,612	355,109	

5 項目別評価

評価項目		自己評価	市の評価
1 業務の履行状況			
(1) 運営業務（全般）			
①運営管理	条例、協定書等に従い、開館日、開館時間等を遵守しているか。	適	適
	使用料または利用料金の徴収、減免手続き等を適切に行っているか。	—	—
	施設の利用者数、稼働率を適切に管理しているか。	適	適
②人員体制	施設の管理運営に必要な資格、経験等を有する人員が過不足なく配置されているか。	適	適
	従業員の労働条件は適正であるか。	適	適
	従業員の資質向上のための指導、研修等を適切に実施しているか。	A	B
③管理記録	業務日誌等を適切に記録し、保管しているか。	適	適
④連絡調整	協定書等に定めた各種報告書を、期限内に市に提出しているか。	適	適
	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	適	適
⑤危機管理	基本協定に定めるリスク分担に従い、適切な対応を行っているか。	適	適
	緊急時に直ちに措置を講じ、市に報告を行ったか。	適	適
	緊急時の連絡体制、マニュアルを整備し、定期的に研修、訓練等を行っているか。	A	B
⑥個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守しているか。	適	適
	施設利用者等の個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じているか。	適	適
(2) 維持管理業務			
①維持管理	省エネルギー、省資源など環境への配慮がなされているか。	適	適
	施設や設備、備品等の保守管理（点検や修繕等）を適切に行っているか。	A	A
	清掃、警備、衛生管理その他施設管理に必要な業務を適切に行っているか。	A	A
②再委託	再委託にあたり、事前に契約方法及び契約事項を市に報告しているか。	適	適
	再委託先からの業務報告を受けるなど、履行状況を適切に管理しているか。	適	適

2 サービスの質			
(1) 運營業務（利用者対応、情報発信等）			
①利用者対応	施設利用者に対して、設備、備品等を適切に提供しているか。	適	適
	施設の利用許可、案内等を迅速かつ適切に対応しているか。	適	適
	施設利用者への言葉使い、態度、服装等、接遇が適切であるか。	適	適
②苦情等対応	要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告しているか。	適	適
	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	A	B
③利用者アンケート	適切な利用者アンケート調査を実施し、その結果が良好であるか。	B	B
	利用者アンケートの結果に基づき、適切な改善策を講じているか。	A	B
④施設の利用状況	施設の利用者数、稼働率等に関する目標を達成しているか。	B	B
⑤情報発信	利用者の利便性向上のため、ホームページ等の更新、管理を適切に行っているか。	適	適
	各種媒体を利用し、事業、イベントの開催案内等の広報を適切に行っているか。	A	A
(2) 事業実施状況			
①事業実施状況	事業計画に定めた事業を適切に実施しているか。	適	適
	施設の設置目的に沿った自主事業を実施し、市民サービスの向上が図られたか。	B	B
(3) 地域貢献			
①地域貢献	地元雇用を積極的に行っているか。	適	適
	地域の意向に沿った運営や、地域活動への参加・協力を行っているか。	A	A
	地元事業者からの物品調達など、地元を活用した運営がなされているか。	A	A
3 継続性・安定性			
(1) 運營業務（経理事務、予算執行等）			
①経理事務	専用口座、帳簿等を備え、指定管理業務に係る経理区分が明確に整理されているか。	適	適
②予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行しているか。	適	適
③取引状況	取引先等の関係業者との関係は良好であるか。	適	適
(2) 収支状況			
①経費縮減	施設の管理運営に係る経費が縮減されているか。（経費削減に努めているか。）	A	A
②収入増加	収入増加のための取り組みがなされているか。	A	B
③収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当であるか。（目標を達成しているか。）	B	A

※ 上記の評価項目、評価の視点は標準的なものであり、施設の特性に応じて調整（追加、削除）を行うこととする。

6 総括評価及び総合評価

総括評価	1 業務の履行状況	A	指定管理者の管理運営に対する評価・コメント 人口減少・少子高齢化による売上減少はあるものの、毎期小幅ではあるが利益計上できている。借入金なく現預金27百万、自己資本比率も26.59%（前期比+1.71%）と安定して推移しており、財務面当面問題ないと思料する。今後の課題としては来店者増加の為の集客力であり、厳木道の駅独自の商品開発が課題である。防災拠点としての機能も重要であるが、道の駅本来の目的である地域活性化・産業創出の為、道の駅でニーズの高い弁当やパン、惣菜等の製造・直売を行うなど、どれだけ6次産業化に向けた取り組みができるかが重要と考える。
	2 サービスの質	B	
	3 継続性・安定性	A	
総合評価		B	